# ☆★☆★☆【たぐちさんの家】 事業所自己評価 ・ ミーティング 記録 ☆★☆★☆

実施日 ①令和2年1月7日(火)19:40~20:30	
-----------------------------	--

# ミーティング参加メンバー

常勤 ① 9名/10名

※スタッフ評価は常勤職員全員(10名)+パート職員1名から意見を回収しています。計11名。

常勤参加率 90.0%

パート 他参加

≪事業所自己評価 ・ ミーティング内容≫

- P2~1,初期支援(はじめのかかわり)
- P3~2,「~したい」の実現 (自己実現の尊重)
- P4~3、日常生活の支援
- ・P5~4, 地域での暮らしの支援
- ・P6~5. 多機能性ある柔軟な支援
- P 7 ~ 6, 連携・協働
- · P 8 ~ 7. 運営
- P9~8. 質を向上するための取組み
- ・P10~9. 人権 · プライバシー

### 令和1年1月 たぐちさんの家スタッフ一覧

- 1 管理者
- 2 ケアマネジャー
- 3 常勤 介護員
- 4 常勤 介護員
- 5 常勤 介護員
- 6 常勤 介護員
- 7 常勤 介護員
- 8 常勤 介護員
- 9 常勤 介護員
- 10 常勤 看護師

- ① パート 介護員
- ② パート 介護員
- ③ パート 介護員
- 4 パート 介護員
- ⑤ パート 調理員
- 6 パート 調理員

現在 総勢16名

1. 初期支援(はじめのかかわり)

≪前回の改善計画≫	≪前回の改善計画に対する取組み結果≫
●情報の共有の確立と担当制の強化。 CM中心に支援計画作成→各担当と共有し支援 内容把握→各担当から他職員へ周知できる体制 を強化する。担当制を活かし、責任を持ちサー ビス内容の評価・CMへの情報提供、日用品等 の管理、受診日等の管理をする。 ※まずは意識し関わることを目標とします。	良く出来ている 2 何とか出来ている 7 あまり出来ていない 2 ほとんど出来ていない 0 定着してきているが、まだ内容が充実していない

≪今回の評価から出来ていないと感じるところ・その理由(下段)≫

- A、目標を立て、支援統一を図っているが、本人(利用者?職員?)の意欲が長続きせず、思うように支援が進んでいない。
- ⇒日々の業務の中で段取りが出来なくなっています。
- B、個別支援計画の変更・更新が出来ていない。 (毎回気づく職員ばかりが対応に追われているような気がする)
- ⇒担当が何をするのか分かっていない、引継ぎが出来ていない、教える余裕・時間がない、研修や 会議がありすぎてやることが多い。
- C、家族の要望等を提議するが、自分が感じたこと、家族の想いを事業所内に上手く伝えられていないと感じる。
- ⇒伝達が下手、連携がうまく取れていないときもある。
- D、ご家族や本人のニーズについて今一度把握できていない面がある。情報不足なのか職員の思い込みなのかズレが生じている。
- ⇒支援で得た情報の再確認・周知をCMと現場職員で確認し合う。
- E、一人への支援に時間がかかってしまう。
- ⇒時間と余裕がない。
- F、利用者への声掛け・気遣いが出来ていない。
- ⇒自身の業務に追われ表面的にしか接していない。

### 初期支援(はじめのかかわり) ≪次回までの具体的な改善計画≫

〇担当制の強化。(各担当が責任感を持ち、各利用者様に関わる支援等を把握し、CMと情報共有を行いタスッフ間に連絡・周知をする)

#### 2. 「~したい」の実現 (自己実現の尊重)

≪前回の改善計画≫	≪前回の改善計画に対する取組み結果≫
●支援の統一を図る。	良く出来ている 0
担当制の中で計画書の更新(サービスの確認)	何とか出来ている 4
をCMと協力して行い、他スタッフへ周知し個	あまり出来ていない 6
人の~したい=ニーズ達成への支援の統一を図	ほとんど出来ていない 1
る。	関わるスタッフが一部だった。

≪今回の評価から出来ていないと感じるところ・その理由(下段)≫

# A、ニーズ達成が滞っている。

- ⇒職員間のお互いの声掛け、ニーズの把握が出来ていない。
- B、本人の『~したい』ということがなく、どうすればいいの?と依存傾向にある方が多い、目標が不透明(本人の目標ではない)

⇒本人の目標でないため、こちらからの押し付けになってしまう。 (~してみましょう。~してみませんか。~しましょう。等)

## C、支援の統一

⇒本人のニーズに対し、職員の考えにばらつきがある。自立支援なのか、介助なのか疑問に感じる。

- D、時間が少なくあまり聞くことが出来ていない。
- ⇒業務で手一杯で次の業務の段取りを考えてしまう。
- E、利用者個々のニーズ把握が出来ていない。
- ⇒担当が決まっていない方もいた。
- F、実践を振り返り、後に活かせていない。
- ⇒計画性がないと思う。

## 「~したい」の実現 (自己実現の尊重) ≪次回までの具体的な改善計画≫

〇担当とCMの連携を強化。(3か月ごと現場スタッフとともに計画の評価をする。毎月の会議にて更新月の方をピックアップし、各担当が評価しCMに情報を返し、決まった内容を事業所内で回覧する)

### 3. 日常生活の支援

≪前回の改善計画≫	≪前回の改善計画に対する取組み結果≫
●暮らし方シートではないが、法人研修で活用されている過去と現在の暮らしについてのシートを活用する。(生活歴・生活習慣シート)※まずは知ること重要自分たちでは限界があるためご家族の協力を得て作成してみる。	良く出来ている 0 何とか出来ている 5 あまり出来ていない 5 ほとんど出来ていない 1 出来ない事はやめて違う方法を検討

≪今回の評価から出来ていないと感じるところ・その理由(下段)≫

A、自宅での暮らし方は少ししか把握できていない。暮らし方シートの活用。全利用者のことは出来ていない。家族からの情報はもらえるがこっちからは聞き出しにくい。 ⇒勉強不足、業務の時間に追われ作成や聞き取りする時間がない、聞いてほしくない情報もあると思う。ある程度、会話から引き出している、想い出も毎回話され、興味関心を引き出しているので不要と考える。フェイスシートや家族からの情報で少しは共有できているところもある。暮らし方シートを活用していない為。

- B、本人の状況に応じた食事や入浴、排せつなどの基礎的な介護ができていない。(自己評価ではできているにしかチェックはない)
- ⇒勉強不足
- C、生活環境が理解できない。
- ⇒事業所内での業務の為、自宅訪問することがない。

### 日常生活の支援 《次回までの具体的な改善計画》

○回想法に取り組み (レクや行事、普段の会話からも回想法的な方法で利用者様を知っていく)、 各利用者様方のできることへの支援を継続したり、楽しみを見つけていく。

### 4. 地域での暮らしの支援

≪前回の改善計画≫	≪前回の改善計画に対する取組み結果≫
●地域資源についての勉強会を開催する。 地域資源とは何なのか、市内における地域資源 にはどのようなものがあるのか知る。 ※まずは毛馬内地区について考えてみる機会を 作る。	良く出来ている 0 何とか出来ている 7 あまり出来ていない 3 ほとんど出来ていない 1 勉強会は出来た。まだ何が地域の資源にあたるのか難しく考えてる方もいるようだ。

≪今回の評価から出来ていないと感じるところ・その理由(下段)≫

# A、地域資源の活用

⇒訪問支援や通院が多く、地域資源(イベントやお出掛け)の活用まで到達できない。前もって人 員配置を厚くしてできる事もあるが普段からは難しい。

- B、その方のルーティンや会話から事業所以外での過ごし方が分かることもあるが、すべては分からない方が大半。生活スタイルを理解する程度でわからない。
- ⇒大体把握できれば良い、家族情報として分かるくらいで良い。すべてを把握するまでの気持ちにならない。
- C、利用者の普段の生活を把握できていない。
- ⇒利用者との会話が足りない、時間がない。
- D、地域との関係がどうなのか把握出来ていない。
- ⇒日常生活の支援のみ行い、地域との関係を知ろうとしていない。

# 地域での暮らしの支援≪次回までの具体的な改善計画≫

○各利用者様が現在関係している、地域資源(知人・店舗・イベント等のインフォーマルサービス)との関係性を保っていけるように支援する。

#### 5. 多機能性ある柔軟な支援

≪前回の改善計画≫	≪前回の改善計画に対する取組み結果≫
●地域資源を把握と利用者への結びつけを検討する。 利用者にあわせた地域資源の活用を皆が考える機会をつくる。 ※前項の毛馬内地区の地域資源がどのように活用できるか話合う。	良く出来ている 2 何とか出来ている 7 あまり出来ていない 2 ほとんど出来ていない 0 概ねできている。

≪今回の評価から出来ていないと感じるところ・その理由(下段)≫

A、地域資源の活用の検討はしているが、実際の活用まで至っていない。使えない状況になるときも ある。有効活用が考えれない。

⇒通院付き添い、送迎対応が多い。現状の人員配置で各々の業務により、対応できる職員がいない。➡では、人がいれば対応できているか?それぞれが意識して取り組み、状況に応じた無駄のない動き・協力の意識を高めて行ければと思う。

利用者のADL低下によりできない。日々の業務で精一杯。地域資源の把握が出来ていない。

B、宿泊のみを希望され、戻れる環境があるのに自宅に戻ることのない利用者様は果たしてニーズに応じた対応=宿泊なのか?ここにいることを望んでいるのか?

⇒宿泊しっぱなしになっている利用者の今後についての話し合いが家族とできていないのではないか?本人・家族含め、在宅で暮らしていくのか施設入所なのかゴールを決めていく段階の可能性が考えられる。

### 多機能性ある柔軟な支援≪次回までの具体的な改善計画≫

○各スタッフが地域資源の活用に向け、日々の業務に対して意識して取り組んだり、状況に応じた無駄のない動き・スタッフ間の協力体制を実践していく。

#### 6. 連携・協働

≪前回の改善計画≫	≪前回の改善計画に対する取組み結果≫
①継続利用者のサービス担当者会議に現場スタッフも参加する。 可能であれば担当がCMと一緒に参加する機会を作る。 他の会議等へ参加したことを記録などで知ってもらう。	良く出来ている 2 何とか出来ている 5 あまり出来ていない 4 ほとんど出来ていない 0 関わるスタッフが一部だった。

≪今回の評価から出来ていないと感じるところ・その理由(下段)≫

- A、自治体、町内会のイベントにあまり参加していない。日程がわからない。
- ⇒日々の仕事以外は家でゆっくりしたい。自治体や他のサービスとの関わりがない。
- B、地域の関係機関・団体のイベントには参加がほとんどありませんでした。 ⇒時間的に難しいと感じました。地域関係の会議開催がいつかわからなかった。
- C、CM・管理者・センター長が参加してくれている。他に参加人員を充てることが難しい。 ⇒役割分担、参加する会により上長であったり、一般職員であったりする配慮は必要であるため。 担当者会議において、早めに担当へ話をいただければ担当職員の参加率も上がるし、情報も密になる。

### 連携・協働《次回までの具体的な改善計画》

○防災訓練、エリア祭り、自施設行事等こちらの方から声掛けし共同してみる。

## 7, 運営

≪前回の改善計画≫	≪前回の改善計画に対する取組み結果≫
●地域行事への参加(準備・片付け・行事そのものへの参加)をする。※事前にスケジュールを知る。 業務に組み込む。また、エリア祭りは事業所から地域にむけて事前に呼びかけする。(チラシが間に合わなくても声がけする)	良く出来ている 1 何とか出来ている 6 あまり出来ていない 2 ほとんど出来ていない 2 関わるスタッフが一部だった。

≪今回の評価から出来ていないと感じるところ・その理由(下段)≫

- A、地域と共同した取り組みはおおむねできているが、回数がそれほど多くない。積極的な取り組みが出来ていない。
- ⇒開所して3年で徐々に増えていくと思っています。積極的かどうか問われると分からない。参加率は悪いができる範囲で参加を検討しているので現状維持で良いと思う。
- B、地域の方の意見が聞けていない。
- ⇒地域とのかかわりが少ない。

# 運営≪次回までの具体的な改善計画≫

〇地域行事のスケジュールまで把握し、ピンポイントでの参加を検討し関りとしての付き合いを継続していく。

#### 8. 質を向上するための取組み

≪前回の改善計画≫	≪前回の改善計画に対する取組み結果≫
●意欲的に参加する意識を持つ。また、自施設研修は2年目となるので充実を図る。 法人研修・外部研修のお知らせは継続して、各自が意識して参加することで地域連携会議や他職種との顔が見える関係づくりになる。	良く出来ている 0 何とか出来ている 7 あまり出来ていない 3 ほとんど出来ていない 1 開催は出来ているが、花輪での開催時は参加率が低い。今後は多機能サービスも分裂して研修を進めた方が専門性が上がるのでは?

≪今回の評価から出来ていないと感じるところ・その理由(下段)≫

- A、研修に参加していない。
- ⇒日々の仕事家のことで精一杯。入職以来、機会がなかった。
- B、地域連携会等の他事業所開催の研修に参加出来ていない。顔の見える関係づくり。 ⇒業務により参加できないことが多い。(利用者支援、会議、連絡調整)足(車)がなく、行く手段の調整が大変。
- C、資格取得、スキルアップの研修
- ⇒大館地区の関係づくりは出来ているが、鹿角市は知らない地区なので会話についていけない内容もある。連絡が回ってくるのが遅く既に予定があり参加出来ないこともある。機会があまりなく、 予定も合わないことが多い。

興味のわく資格がない。意欲がない。

### 質を向上するための取組み≪次回までの具体的な改善計画≫

○研修等の回覧は来たらすぐに回覧していき参加を促すこと。研修においては合同研修よりも自分達の事業所で必要なことを自分たちで考え質の向上へ取り組む。

# 9, 人権 ・ プライバシー

≪前回の改善計画≫	≪前回の改善計画に対する取組み結果≫
●年間を通して権利擁護や成年後見制度の研修 会は開催されているので意欲的に参加する。	良く出来ている 1 何とか出来ている 3 あまり出来ていない 3 ほとんど出来ていない 4 出来ていない方が多い。介護の業種的に覚えているほうが良いという意識は必要。

≪今回の評価から出来ていないと感じるところ・その理由(下段)≫

- A、権利擁護、成年後見制度の研修参加
- ⇒勤務にて参加できない。他の研修(自分が必要と思う研修)を優先してしまう。 自分の中で後回しになってしまっている。入職以来研修会がなかった。
- B、備品類(個人情報含む)が、元の場所に返却されていないところがある。 ⇒意識してきちんと片付ける。
- C、危険防止の為、行った行動が身体拘束にあたると指摘を受けた。 ⇒行動を起こす前に他職員へも相談する。

# 人権 ・ プライバシー≪次回までの具体的な改善計画≫

○法人ケアマニュアルや虐待防止セルフチェックの継続をして自分の対応を振り返り虐待・身体拘束防止の理解と促進をしていく。